
Galdrastafir Girl ~魔法と少女~

伊吹 理緒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Ga1drastafir Gir11 魔法と少女

【Zコード】

Z5425BA

【作者名】

伊吹 理緒

【あらすじ】

魔法と呼ばれる奇跡が人の心から消えた現代。薄弱な希望と強固な絶望が渦巻く人の世を駆ける少女達がいた。少女達は人々に忘れられた奇跡『魔法』を使い、その命を輝かせる。そしていつしか『魔法熟者』である『ソルシエール（未知の語り部）』と『マレフイキウム（害悪たる悦び）』の悲惨魔道の闘争に巻き込まれる少女達。魔法とは何か。奇跡とは何か。善と悪、分かつ心を超える眞の命の輝きを、少女達は争いの中で見出していく。

ねえ、魔法つて信じる？

小さな頃には信じたかも知れないね。

でも、大人に成るにつれ、生きる事の意味を知るにつれ、心の中の魔法はどんどん隅に追いやられ、小さくなつていいく。そしていつしかその言葉も、その意味も、無くなつてしまふの。だけどね。

魔法は確かに在るんだよ。

小さな頃に信じた魔法。

小さな頃に夢見た魔法。

小さな頃に願つた魔法。

確かに、確かに在るんだよ。

大人に忘れられたその奇跡は、ごく僅かな人達の中で生きているんだ。

そう、魔法は誰も彼もが使えるわけじゃない。

生まれた時に、体の何処かに小さな印を持つて生まれる子がいる。その印は『魔女の印』^{ステイグマタ・ディアボリ}つて呼ばれていて、その印を持つて生まれた子だけが魔法と共に生きれるんだ。

魔法は森羅万象を理解、操作する超自然的能力だつて『先生』が言つてた。

でもその強すぎる奇跡の力は使い方を間違えると世界を崩壊させてしまう程の危険な力なんだつて。

だから、印を持つ子達はその使い方を誤らない為に熟練の魔法使いに教えを乞つ。

その人達は『魔法熟者』と呼ばれていて、とても強い魔法が使えるんだ。

だけど、その魔法熟者の人達全てが善良な人間じゃない。熟者に至るまでの魔法の使い方で、その後に与えられる称号は二種類に分けられるんだって。

善き魔法の使い手は『未知の語り部』^{ソルシエール}と呼ばれ、

悪しき魔法の使い手は『害悪たる悦び』^{マレフィキウム}と呼ばれてる。

そして、善悪に分かたれた魔法の使い手達はお互いの存在を否定し合つて、いつしか争いを始めてしまったの。

人の為の奇跡。

命の為の奇跡。

願いの為の奇跡。

未来の為の奇跡。

そんな魔法が、命を傷つけている。

でも、信じて。

本当の魔法はいつでも『あなたの中に在る』。

魔法を忘れてしまったあなたの為に。

魔法を信じれなくなつたあなたの為に。

わたしがあなたの『魔法と成る』から。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5425ba/>

Galdrastafir Girl～魔法と少女～

2012年1月14日22時50分発行